

ブラジルの日系人パワーと 日伯国際協力の歩み

2026年 **10/3_土~12/27_日**

海外移住と文化の交流センター
1階特別展示場

**入場
無料**

開場:午前10時~午後5時(入場は午後4時30分まで) 休館日:月曜日(祝日の場合は翌日)

1908年に始まった日本人のブラジル移住。移住者とその子孫は、農業や産業、教育、文化などの分野で力を発揮し、世界最大の日系社会を築きました。その力は今、日本の食料供給やものづくり、多文化共生にもつながっています。

本展では、ブラジルと日本の社会に貢献してきた日系人パワーの歩みと、JICA がブラジルで進めてきた国際協力事業を紹介します。

第1部 ブラジルを拓き、日本を支える日系人パワー

- 世界最大の日系社会がなぜブラジルに?
- 大地を拓き、社会を変えた日系人パワー
- 日本を支え、未来へつなぐ日系人パワー



移住初期は契約労働者としてコーヒー農園で活躍



ブラジルが農業大国に成長した原動力



日本では人材派遣会社を通じて製造工場を中心に貴重な戦力

第2部 JICAによるブラジルへの国際協力

- 移住者支援
- ブラジルと日本の協力の歩み(農業開発・都市基盤づくり)
- 日系社会とともに歩む協力



「不毛の大地」と呼ばれたセラード地帯に広がる穀倉地帯



サンタ・カタリーナ州沿岸部衛生改善事業(下水処理場)



JICA海外協力隊による野球指導(クリチバ日伯援護協会)

主催: 一般財団法人 日伯協会、神戸市
共催: 独立行政法人 国際協力機構(JICA)



一般財団法人 日伯協会
ブラジル移住の歴史とともに 100 年



地図 © Google

〒650-0003 神戸市中央区山本通3丁目19-8 海外移住と文化の交流センター2階
電話・ファックス 078-230-2891

E-mail info@nippaku-k.or.jp URL http://www.nippaku-k.or.jp



- JR・阪神電車「元町」駅東口より鯉川筋を北へ、徒歩約15分
- 神戸市営地下鉄「県庁前」駅より、徒歩約10分
- 神戸市営バス「三宮駅前」停(阪急百貨店前)から⑦系統にて「山本通4丁目」站下车、徒歩約2分。
JR元町駅東北側からも乗車できます。7~10分間隔で運行されています。
*お車の方は、当センター北側の有料駐車場をご利用ください。